

目標達成計画

作成日: 令和 4年 5月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有といった意味では、経験と共に進んでいる一方で、実践という意味では、まだまだ改善が必要だと考えている。	理念そのものが、サービス提供における、行動規範になるよう、各研修・カンファレンス等、随時理念を意識できるよう努める。	日々の朝礼・各種研修・カンファレンス時に、随時理念を意識したものになっているかを、意識して行く事とする。	12ヶ月
2	35	進展はあるものの、コロナ禍において、思うように進んでいない部分として、地域住民等の協力体制を構築して行く必要がある。	法定避難訓練に加え、より細かな想定また、より具体的避難方法に関して、実践的な避難訓練の実施に努める。	定期的に訓練の実施、また全職員が訓練内容を把握し、実践できるような体制づくり。また、運営委推進会議等の活用もしながら、地域の協力体制を構築していく。	12ヶ月
3					
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。